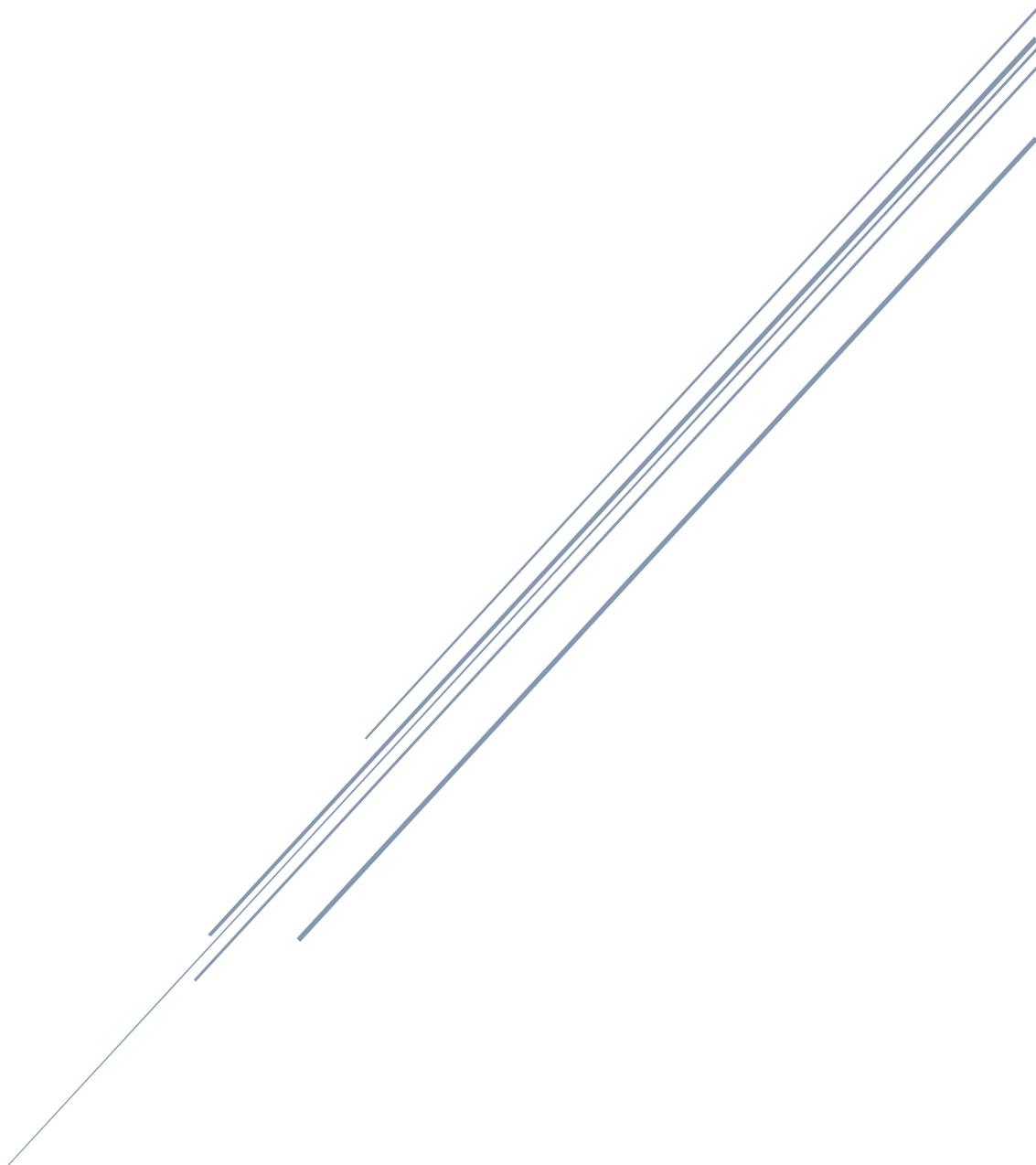


ソースコード導入説明書

地図ロイド Mini for Windows



變更履歷

2014/6/22 初版

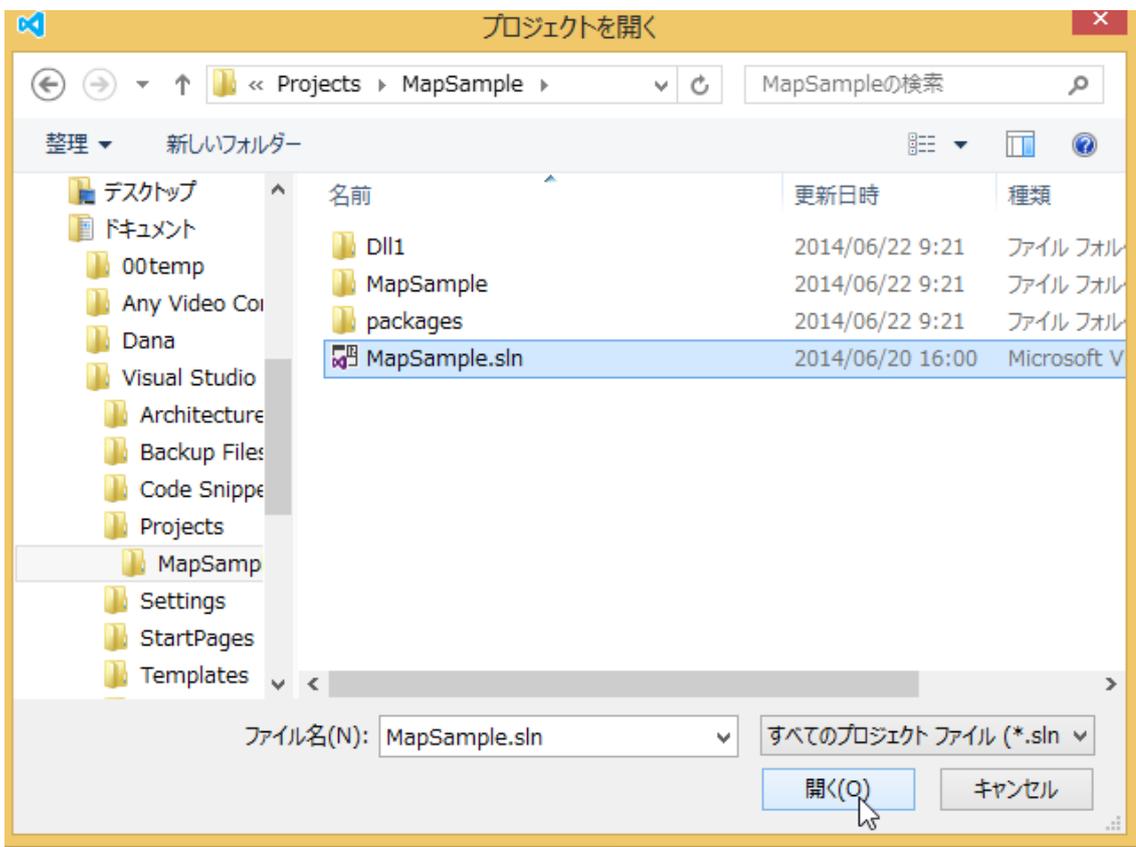
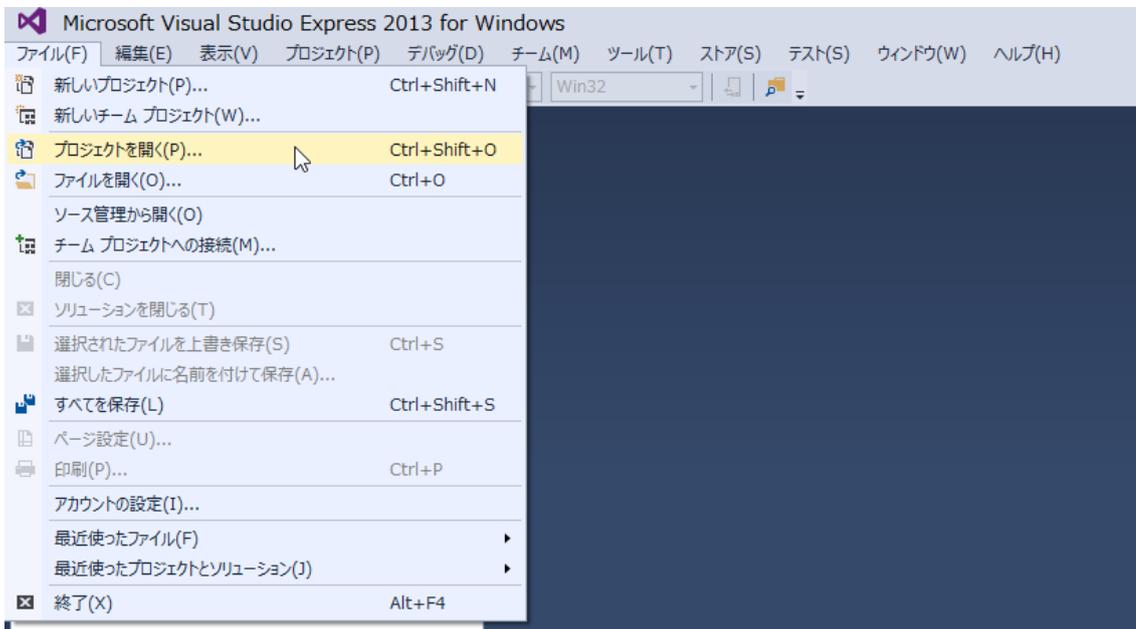
目次

変更履歴	1
1. プロジェクトを開く	3
2. ビルドする	5
3. 実行する	6
4. アプリ名, 発行者名の変更	7
5. ファイル構成	8
(1) MapSample フォルダ	8
(2) Dll1 フォルダ	8
(3) Packages フォルダ	8
(4) MapSample フォルダの実処理ファイル	8
(5) Dll1 フォルダの実処理ファイル	9

1. プロジェクトを開く

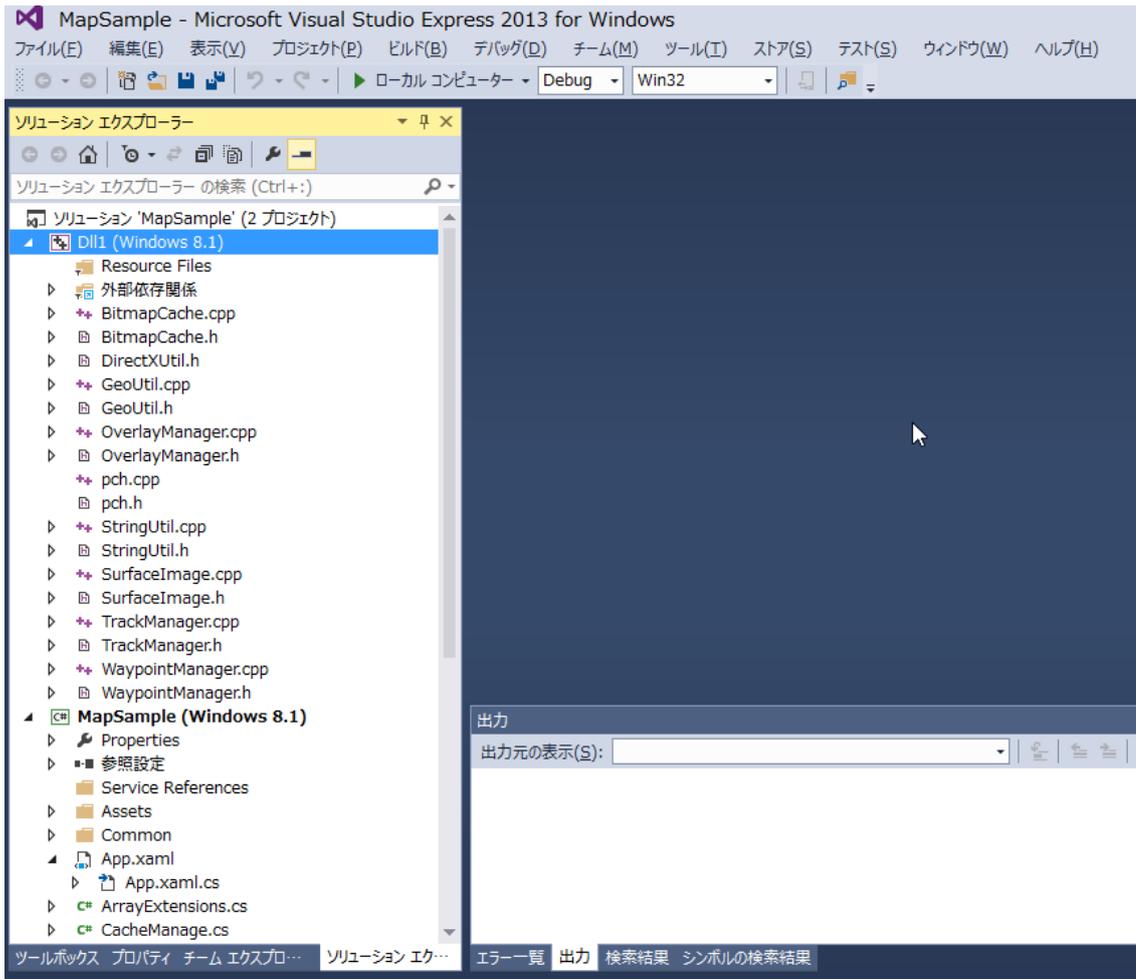
ソースコード一式を、フォルダに展開しておいてください。
そして、Visual Studio 2013 を起動してください。

起動後、「ファイル」から「プロジェクトを開く」を選んで、



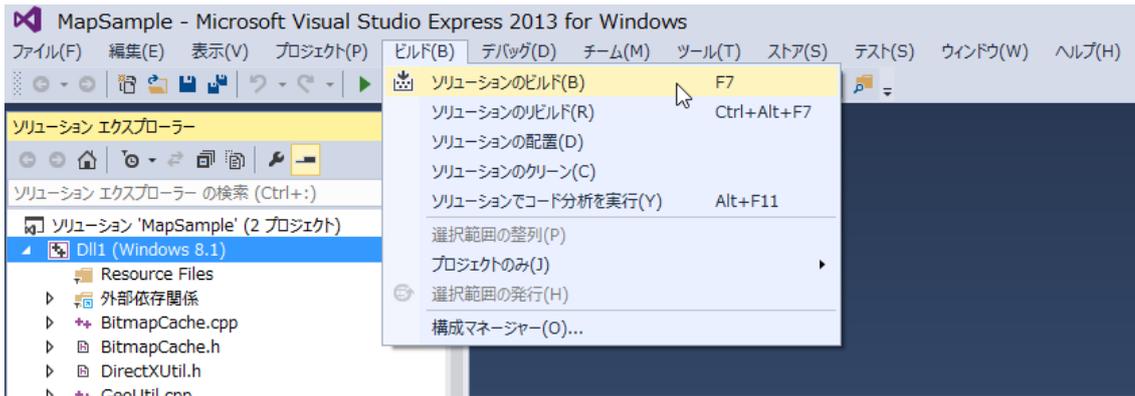
ソースコード一式のフォルダの中にある MapSample.sln を選んでください。

すると、プロジェクトが読み込まれます。



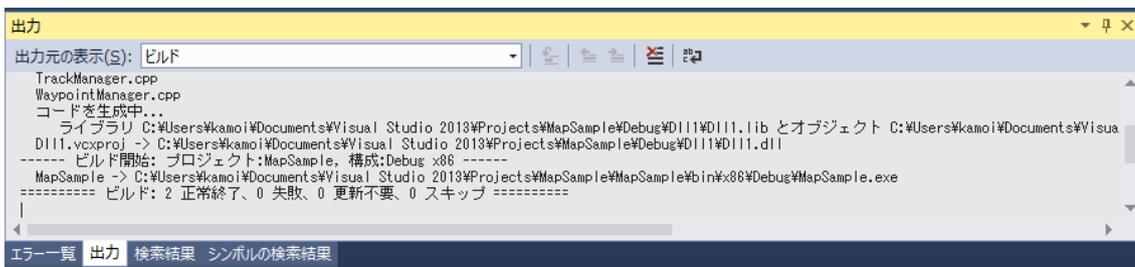
2. ビルドする

ビルドするには、「ビルド」から「ソリューションのビルド」を選んでください。



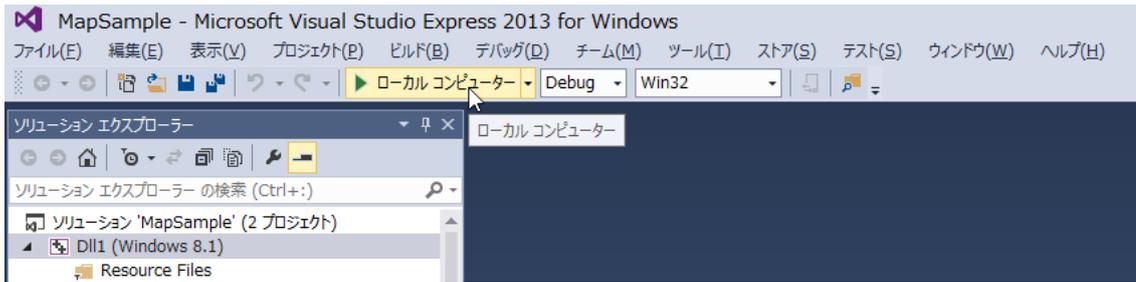
すると、ビルドが始まります。

しばらく待つと、出力ウィンドウに以下のように結果が出力されて、終了します。



3. 実行する

実行先を選びます。ここでは「ローカルコンピューター」を選んでいきます。



他にも、シミュレータ、リモートコンピューターを選べます。

(リモートコンピューターで実行するには、Visual Studio リモート デバッガーの設定が必要です)

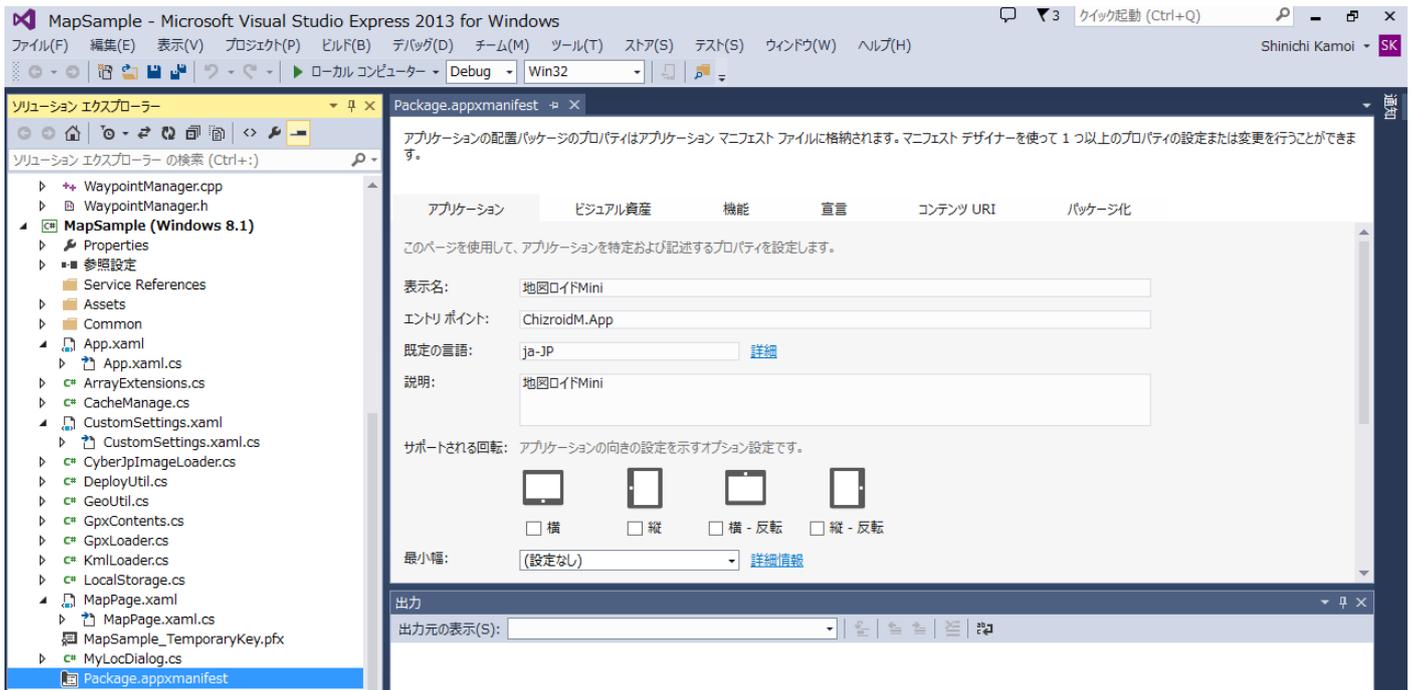
そのボタンを押すと、必要ならビルドして、アプリが起動します。



4. アプリ名、発行者名の変更

ソースコードのままでは、アプリ名が「地図ロイド Mini」で、発行者名が「KMI ソフトウェア」になっています。

これを貴社の名前に変更するには、マニフェストファイルを編集してください。



Package.appxmanifest を開いて、変更してください。

5. ファイル構成

(1) MapSample フォルダ

C#と XAML によるメインプロジェクトです。

(2) Dll1 フォルダ

画面描画処理のプロジェクトです。C++で Direct2D を使用しています。

(3) Packages フォルダ

参照しているライブラリです。KML ファイルの読み込みのために、SharpKML を使用しています。

<https://sharpkml.codeplex.com/>

SharpKML は、Microsoft Public License で公開されています。

(4) MapSample フォルダの実処理ファイル

ファイル名	説明
App.xaml	アプリケーション全体の設定
App.xaml.cs	チャームなどアプリケーション全体の処理
ArrayExtensions.cs	配列型の拡張クラス
CacheManage.cs	地図タイルのキャッシュ処理
CustomSettings.xaml	設定オプション画面のレイアウト定義
CustomSettings.xaml.cs	設定オプション画面の処理
CyberJpImageLoader.cs	地理院タイル、標高 API の読み込み処理
DeployUtil.cs	アプリケーションパッケージに関する共通処理
GeoUtil.cs	緯度経度に関する共通処理
GpxContents.cs	GPX ファイル内容のデータ構造
GpxLoader.cs	GPX ファイルの読み込み処理
KmlLoader.cs	KML/KMZ ファイルの読み込み処理
LocalStorage.cs	読み込んだ GPX/KML ファイルの保存管理
MapPage.xaml	地図画面のレイアウト定義
MapPage.xaml.cs	地図画面の処理
MyLocDialog.cs	緯度経度表示用小画面の処理
Package.appxmanifest	アプリケーションのマニフェストファイル
ScaleBar.cs	縮尺スケールバーの処理
StringExtensions.cs	String の拡張クラス
UtmConversion.cs	緯度経度と UTM 座標の相互変換処理
ZipUtil.cs	ZIP ファイル(KMZ)展開を扱う処理

(5) Dll1 フォルダの実処理ファイル

(ヘッダファイルは割愛)

ファイル名	説明
BitmapCache.cpp	タイル画像のメモリキャッシュ管理
GeoUtil.cpp	緯度経度に関する共通処理
OverlayManager.cpp	KML オーバーレイ(カスタム地図)のデータ管理
StringUtil.cpp	String に関する共通処理
SurfaceImage.cpp	DirectX 共有サーフェイス(SurfaceImageSource)の実装
TrackManager.cpp	GPX/KML ファイルから読み込んだトラックデータの管理
WaypointManager.cpp	GPX/KML ファイルから読み込んだポイントデータの管理